

2016年10月27日
株式会社ジュピターテレコム
アスミック・エース株式会社

アスミック・エースが台湾の映像配信サービスと 調達エージェント契約を締結

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:牧 俊夫、以下 J:COM)のグループ会社であるアスミック・エース株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:長澤修一、以下アスミック・エース)は、アジア最大の定額音楽聞き放題サービスを展開するKKBOXグループが2016年に設立した台湾の動画配信プラットフォーム「KKTV」と独占的調達エージェント契約(※1)を締結しました。これにより、アスミック・エースは、「KKTV」の日本におけるコンテンツ調達窓口として、「KKTV」が配信する日本の映像作品を台湾に紹介します。

KKTVは、KDDI株式会社の関連会社であるKKBOXが、今年8月に開始した月額見放題の動画配信プラットフォームです。台湾では今年、海外の大手映像配信事業者が次々にサービスを開始。“動画配信元年”と言われるなか、若い世代を中心にアジアで1,000万超のユーザーを抱えるKKBOXが立ち上げたKKTVは、アジアにおける次世代動画プラットフォームの主要プレーヤーとして、注目を集めています。

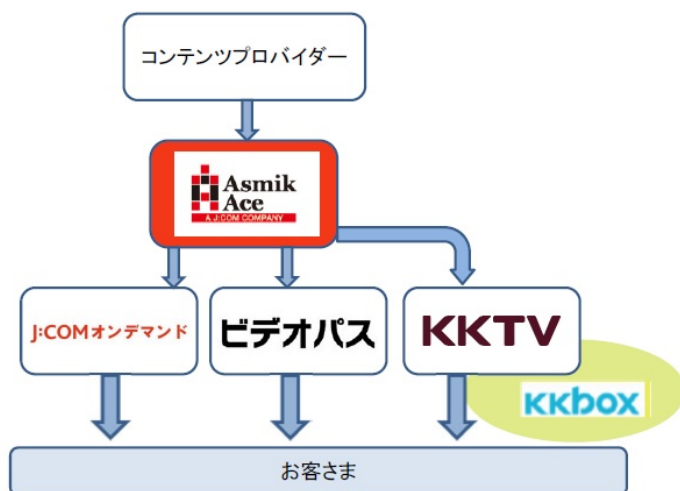
アスミック・エースは、映画、アニメ、ドラマなどの映像作品を調達し、VODサービスに提供するコンテンツ調達・配信事業を、映画製作・配給事業と並ぶ主力事業として展開。「J:COMオンデマンド」、KDDI「ビデオパス」などに向けコンテンツを調達しています。こうした実績がKKBOXに評価され、台湾で需要が高い日本コンテンツの調達を担うこととなりました。

J:COMのメディア事業は、J SPORTS、ムービープラスをはじめとする17の専門チャンネルへの出資・運営を中心に、アスミック・エースを通じて映画・映像作品の企画・製作や、コンテンツ調達・配信を行い、コンテンツのバリューチェーンを幅広くカバーしています。

J:COMは、今回の取り組みをアジアにおける映像コンテンツの調達・販売ルート形成の端緒と位置づけるとともに、KKTVを通じアジアのコンテンツ市場の動向やコンテンツ展開の知見を収集し、メディア事業の海外展開の拡大を目指します。

※1 一部、KKTVが直接調達する日本コンテンツがあります。

【展開イメージ】



KKTV ローンチイベントの様様

ジュピターテレコムについて <http://www.jcom.co.jp/>

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの28社75局を通じて約524万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,107万世帯です。番組供給事業においては、17の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IP マルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。 ※上記世帯数は2016年9月末現在の数字です。

アスミック・エースについて <http://www.asmik-ace.co.jp>

アスミック・エース株式会社は、日本映画製作・配給、外国映画の輸入・配給、および映像パッケージの制作・販売・配信など、映画・映像事業を総合的に展開しています。

また映像配信事業として、「J:COM オンデマンド」「ビデオパス」などをJ:COM/KDDIと展開し、2015年12月より、ジュピターエンターテインメント株式会社からの吸収分割を受け、ケーブルテレビ向けのIP-VOD サービス「milplus」を開始しました。